



しゃくなげ

令和3年
1月26日号

はし 箸を上手に使えますか？ ～子どもとマスターする生活技術～

シアトル日本語補習学校長 柏 隆

新年、明けましておめでとうございます。保護者の皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は、コロナ禍で対面授業や行事など、思うような教育活動ができず、申し訳なく存じます。

今年も先行きは不透明ですが、1日も早く通常の教育活動が行えることを願いながら、保護者の皆様のご理解とご協力を得て、子供たちが笑顔で楽しく安心して学習に取り組むことができるよう、教職員一丸となって教育活動に邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、『子どもとマスターする49の生活技術 イラスト版手の仕事』（子どもの生活科学研究会編）という本があります。生活技術とは、「手さばき」に代表される私たちが日常生活を送る上で、身に付けておく必要のある基本的な技術のことです。「手さばき」とは、書道・華道・茶道など伝統芸能の作法から、日常生活の箸使いやひも結びなどまで含めた手指操作の技能で、**私たち日本人が長い間かけて作り上げてきた文化、固有な財産**の一つと言えます。以下に「49の生活技術」で図解されている一部を紹介します。

- | | | | |
|-----------|------------|------------|--------------|
| ① 箸を持つ・使う | ② 包丁で切る | ③ リンゴの皮をむく | ④ 生卵を割る |
| ⑤ マッチを擦る | ⑥ 缶詰を開ける | ⑦ 茶碗を洗う・拭く | ⑧ 食器を並べる |
| ⑨ 針に糸を通す | ⑩ ボタンを付ける | ⑪ 針で縫う | ⑫ 蝶結びをする・ほどく |
| ⑬ 靴ひもを結ぶ | ⑭ 安全ピンを留める | ⑮ のこぎりで切る | ⑯ 釘を打つ |
| ⑰ 雑巾を絞る | ⑱ ほうきで掃く | ⑲ 鉛筆を削る | ⑳ 鉛筆を持つ |
| ㉑ カッターで切る | ㉒ 傘を開く・閉じる | ㉓ 折り紙を折る | ㉔ こまを回す |

いかがでしょうか。これらの技術は、生活様式の変化や道具用具の進歩・改良に伴い、現在では必要度が低くなっているものや、わざわざ学校の授業で教えているものもありますが、どれも教わらなければ身に付かないもの、身に付けるには「コツ」が必要なものばかりであると思います。

今から20年以上前の平成7年に刊行された本ですが、前書きや解説によれば、出版された背景には、当時、日本国内の**子どもたちの手さばきが衰えてしまった実態**と、『子どもと』と書名にあえて記されているように、**大人たちがモデルになれなくなってしまった実態への危機感**があったようです。研究者はさらにその20年ほど前、昭和50年代初期からこの実態を指摘してきたそうですが、時は進み、筆者の危惧する状況は、ますます深く広がってきているように思います。

手さばきを身に付けることの重要性とは何か。「手と指は第2の脳」と言われ、**手を使うことが脳の発達を促す**ことは、近年の脳科学によっても明らかです。人間は手を十分動かすこと

によって、今日の文化・文明を築き上げてきました。文字通りの「手抜き」の常態化の進行は、人間の退化や人間性の喪失を招き、人間社会の将来に影を落とすのではないかと、とは考え過ぎでしょうか。

上に紹介した「生活技術」の中には、現代の生活様式や米国での生活とは、あまりにもかけ離れてしまっているものもありますが、過去の遺物・技術と切り捨ててしまわず、家庭で、親子で過ごす時間が増えていると思われる今、**技術の持つ有効性やコツ・先人の知恵**などについて改めて考える機会として、「**日本の生活技術**」を見直し、**お子さんと共に体験・検証**してみたいでしょうか。

○令和2年度 卒園・卒業式について

本校では、可能な限り卒業式をサマミッシュ校（屋内及び屋外も考慮に入れ）で実施したいという思いで12月まで可能性を探ってきました。

しかし、「ヘルシー・ワシントン～回復へのロードマップ」や現地校の状況を見ると、3月13日にサマミッシュ校の施設を借りて、卒業式を実施することは難しいという結論に至りました。

そこで、本年度の卒業式はオンラインでの開催にしたいと考えています。

◇日時：3月13日（土）

- ・ 9:00～ 幼稚園部
- ・ 10:00～ 小・中・高部

※なお、卒業学年以外は、授業を実施します。

○令和3年(2021年)度の授業料について

新年度4月からの授業料について決定しました。詳細については、別添「授業料納入についてのお知らせ」をご覧ください。

「授業料納入についてのお知らせ」⇒ [ここをクリックしてください](#)

○退学届の提出について

令和2年度中、もしくは3月をもって退学を予定されている方は、退学届をご提出ください。提出が確認できない場合は、授業料引き落とし停止の手続きが遅れることがあります。なお、卒園・卒業学年（高等学部3年を除く）で、本校に進学されない場合は、「授業料自動引き落とし停止届」をご提出下さい。卒園卒業日の1ヶ月前から受け付けます。

「授業料自動引き落とし停止届」⇒ [ここをクリックしてください](#)

○学校アカウントの有効化について

11月号でもお知らせしましたが、ブラウザ版の Teams では今後オンライン授業で使用する機能のいくつかが使えません。まだお子様がお使いのパソコンで学校アカウントが有効化していない場合は、有効化をしていただきますようお願いいたします。

セットアップは学校ホームページ上の「更新:セットアップマニュアル(P47更新)」をご覧ください。

○ 文集「土曜日」の表紙絵について

文集の表紙絵を募集していましたが、応募作品の中から、表紙及び裏表紙として次の作品が選ばれました。

☆幼・小部☆

【表】



小 5-3 三浦 紗和

【裏】



小 5-2 佐武 暖

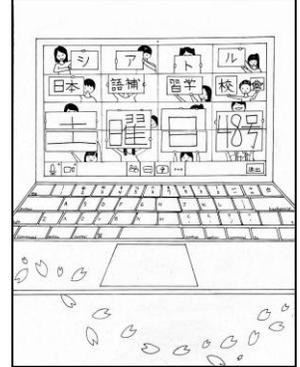
☆中・高部☆

【表】



中 3 村山ソフィア

【裏】



中 3 土肥 瑠子